

第3班

機電技術者に何が出来るか？

(株)竹中工務店 宮口
(株)青木建設 小林
(株)大林組 木村
鹿島建設(株) 小野
日本道路(株) 春山

現代社会の問題点
新しくハコモノを創る時代は終わった
今後は、より良い生活環境への取り組みを
提案していく必要がある

今まで、機電技術者は仮設（施工の**プロセス**）の提案をしてきた

大容量高速通信手段を用いて
→自動運転・遠隔操作などによ
る在宅勤務
→流行・情報の発信

大容量高速輸送手段を用いて
→農産物・工業製品・エネル
ギーなどの一極集中生産

来るべき社会（生活）の未来像

機電技術者は、少年の頃からモノをいじ
る事が好きで、
モノを創る事が好きで、
いつの間にか**プロセス**を
大事にする事を覚えていた

より良い住環境の選択
→高速通信・高速輸送を
用いることにより住宅の
一極集中を避けることが
――

機電技術者が生きる道・伸ばしてゆくべき能力

- ・それぞれの分野での土木・建築技術の更なる修得（日々の業務の中で）
- ・業界を超えた**モノ創り**のセンスを吸収する
（常に物事を最終型で考えるのではなく、**プロセス**を考えて）
- ・あらゆるモノがそこに至るまでの**プロセス**（生産・歴史）を
感覚的にとらえる能力を磨く

建設業（社会）がめざすべき姿に対し、能力を発揮していける